

飯田国道 NOW

地域と連携した
緑の道づくり

国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所

〒395-0024
長野県飯田市東栄町3350番地
電話 (0265) 53-7200 (代表)
ファックス (0265) 53-7210
E-メール cbr-iikoku@mlit.go.jp

飯田国道事務所からのお知らせ

平成28年4月22日

「道路老朽化対策」パネル展を開催します。
～高齢化する道路施設を次世代に引き継ぐために～

1. 概要

道路インフラの現状や、定期的な点検や修理をすることで、長く安全に使うことができることを広く皆様にご紹介することを目的に「道路老朽化対策」パネル展を開催します。

2. 開催場所と時期

4月26日～7月30日：道の駅「信州平谷」 情報コーナー

3. 配付資料

「道路老朽化対策」パネル展（資料1）

4. 記者発表資料 配布先

飯田市役所記者クラブ

5. 問い合わせ先 飯田国道事務所

副所長 野田 茂樹 管理第二課長 島崎 玲一
TEL 0265-53-7206 FAX 0265-53-7212
E-Mail : cbr-iikoku@mlit.go.jp

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

飯田国道事務所ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/>
飯田国道事務所モバイル <http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/mobile/>

1. パネル展の主な内容

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設は、急速に高齢化が進む事が確実で、老朽化対策はさしせまった課題となっています。

道路は、国民の共有財産であり、少しでも長く使えるように、きめ細かい点検と修理を行って次世代へ引き継いでいくことが必要と考えています。

そのような道路インフラが置かれている状況や道路の橋をまもる取り組みについて、広く皆様にご紹介するためのパネル展を実施いたします。

2. 展示パネル(一例)

はし 「橋をまもる」

わたしたちの暮らしになくならない橋。最近、その橋でひびが入ったり、鉄がさびてきたり、コンクリートが欠けたりすることが見つかっています。これは橋ができてから何十年も使われてきた結果、いろいろな問題が起こってきているのです。

このままだと、みなさんが大人になったころにはあちこちの橋が使えなくなってしまう。

橋も人と同じように早めに健康診断をし、問題が小さいうちに手をすれば、健康な姿で長持ちさせることができます。

国土交通省飯田国道事務所では、みなさんの財産である橋を定期的に点検し、早めに修理することで、永く安全に使っていただきたいと思っています。

国土交通省飯田国道事務所

橋ってなんだろう？

橋は「きずな」

あれ？ 橋の別の人がおせいで文の人を運んでいるよ。

橋がないから、大きな川を渡るのは苦がけだったんだって。

橋は、大昔から人と人をつなぐ「きずな」でした。橋ができるようになったら、向こうに渡ることもできるようになり人の行き来が盛んになることで、くらしが豊かになり、いろいろな文化が生まれてきたのです。

橋ってなんだろう？

橋のしくみ

橋は橋脚や橋台に支えられているんだ。

その橋脚や橋台の基礎は、かたい地盤に支えられているよ。

橋は、人やクルマが通る上部構造と、それを下からしっかりと支える下部構造から構成されています。

橋ってなんだろう？

橋ができるまで

新張橋の場合

- 橋をかける位置を決める。
- 橋の基礎をつくる。
- 橋をつくる、橋脚の基礎をつくる。
- 橋げたと橋を身がけしていき、橋げたをかけるケーブルをつくる。
- 吊り下げた橋げたを引っ張り、ケーブルを張っていく。
- 橋げたをつくらせて、道路部分の基礎やフェンスなどをつくる。

左の「ラフスケッチ」がはじまりから「やじろべえ工法」と呼ばれています。

橋をまもる！

としよりの橋がふえる

つくってから、50年以上たつ橋の数 (平成地方の国道の数 4,074橋)

年	数 (おおよそ)
2015年	932
2025年	1,910
2035年	2,668

橋は生まれてから60年くらいたつと、いたみやずくなくなるんだよ。

いたみやひどくなると、橋が使えなくなっちゃうこともあるんだよ。

みなさんが大人になるころには、つくってから50年以上がすぎ、いたみやずくなる橋がとて多くなります。

橋をまもる！

健康な状態で長持ちに

- 健康診断(点検)
- 治療(修理)
- 健康な状態に

小さな橋を発見！がさいうちになおすんだよ。

早めの治療(修理)ができたので、この橋はまだまだ元気に使えようなんだって。

橋の傷が大きくなると、健康でなくなるよ。たくさんのお金をかけ、新しい橋をつくることになりま。そのため、早めの治療で橋をできるだけ長持ちさせることが大事です。

これからはがんばるぞー！